



44

諫鼓形香炉

山尾次吉

1点

明治33年(1900)

(像) 彫金、銀、赤銅、素銅、金、四分之

(台) 木彫

総 18.0 × 29.5 × 45.3

三の丸尚蔵館

泰平の世を象徴する諫鼓と鶏の主題を、多彩な色金を駆使して表した彫金の作品。加賀象嵌の名工、山尾次吉（光侶、1862～1923）が手がけた。透かし彫りで蔦を表した木彫の台がともない、「長武刀」の刻銘がある。皇太子（大正天皇）御結婚に際して住友家15代当主住友吉左衛門（春翠）より献上された。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

明治の御慶事 — 皇室の近代事始めとその歩み

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 80

編集 宮内庁書陵部

宮内庁三の丸尚蔵館

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

制作 艸藝社

平成三十年四月二十八日発行

© 2018

The Archives and Mausolea Department
The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan
Imperial Household Agency